

令和7年度
稲荷町地内配水管布設工事(第2工区)

数 量 計 算 書

飯 能 市 上 下 水 道 部
水 道 工 務 課

数量総括表

[illegible]

D C I P ϕ 75

[illegible][illegible]

切 り 管 調 整

DCIP φ 75

本 数	甲切り管 (m)	乙切り管 (m)				切り管長 (m)	残管 (m)	切断工 口
		1	2	3	4			
1	② 1.00	② 2.00	① 1.00			4.00		2
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
切り管長						4.00		2口
(4 + 0) ÷ 4m /本 = 1本								

$$\begin{array}{r} \text{直管本数} = \text{定尺管} \\ \text{切管用} \end{array} \quad \begin{array}{r} 12 \\ 1 \\ \hline 13 \end{array}$$

DCIP φ 75 (L = 4.0 m)

$$\text{管明示工 } \phi 75 (0.09 \times 3.14 \times 1.5 \times 54.0 + 54.0) \div 20 = 3.8 = 4 \text{ 卷}$$

$$\text{新設管残管重量 } \phi 75 \quad 0.01440 (\text{t/m}) \times 0.00 (\text{m}) = \quad \text{t}$$

本管配管工集計表

[illegible]

配水管土工延長集計表

[illegible]

配水管土工計算		一般車道舗装	配水管布設部	延長	=	18.85 m	N0.1
		既設 CIP75		DP=1.20			布設
		新設 DCIP75		DP=1.20			
種 別	形状・寸法	算 式				数 量	
舗装版切断工	厚15cm以下	18.85×2				= 37.70 m	
舗装版直接掘削積込工	0.20m^3 ハック杓 $A_{st}=10\text{cm}$ 以下	0.60×18.85				= 11.31 m^2	
機械掘削積込工	0.2m^3 ハック杓	$(0.60 \times 1.24 - 0.006) \times 18.85$				= 13.91 m^3	
機械埋戻工	0.2m^3 ハック杓 砂質土	$(0.60 \times 0.89 - 0.006) \times 18.85$				= 9.95 m^3	
	0.2m^3 ハック杓 発生土					= m^3	
残土処分工	機械積 AS 4t車	$0.60 \times 0.05 \times 18.85$				= 0.57 m^3	
残土処分工	機械積 土砂 4t車	13.91				= 13.91 m^3	
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	0.60×18.85				= 11.31 m^2	
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	0.60×18.85				= 11.31 m^2	
As舗装工	再生密粒度アスコン t= 3cm	0.60×18.85				= 11.31 m^2	
発生土運搬工（仮置場）	0.2m^3 ハック杓 4t車	$\div 0.90$				= m^3	
略		図					

掘削

埋戻し

舗装版掘削積込工

再生密粒度As

再生粒調
碎石RM-40

再生切込
碎石RC-40

埋戻し用
砂質土

機械掘削

DP=1200

1240

90

50

30

170

200

890

1290

600

既設φ75

新設φ75

※既設 CIP75控除

0.006 m^2

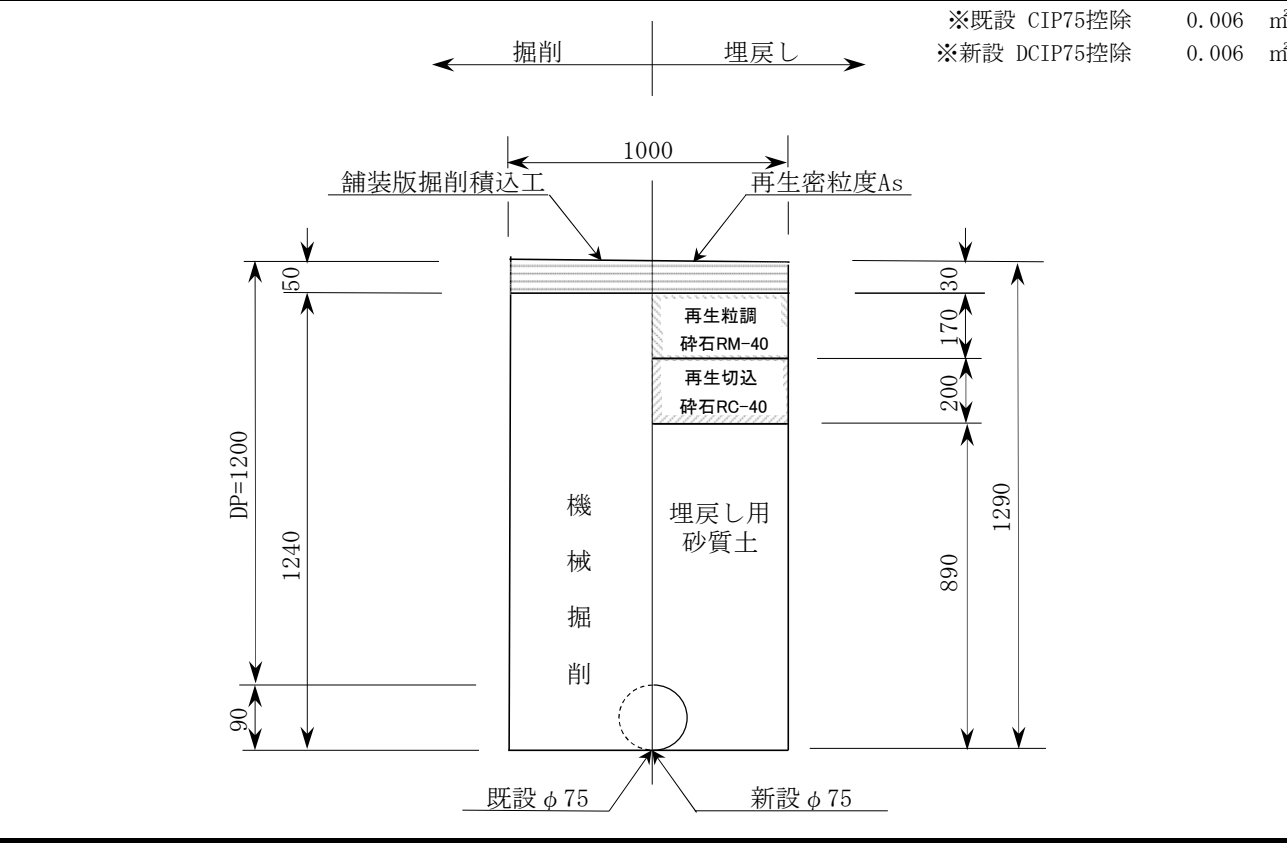
※新設 DCIP75控除

0.006 m^2

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	$19.96 \times 2 =$	39.92 m
舗装版直接掘削積込工	0.20 ³ ハックホ Ast=10cm以下	$1.00 \times 19.96 =$	19.96 m ²
機械掘削積込工	0.2 ³ ハックホ	$(1.00 \times 1.24 - 0.006) \times 19.96 =$	24.63 m ³
機械埋戻工	0.2 ³ ハックホ 砂質土	$(1.00 \times 0.89 - 0.006) \times 19.96 =$	17.64 m ³
	0.2 ³ ハックホ 発生土		m ³
残土処分工	機械積 AS 4t車	$1.00 \times 0.05 \times 19.96 =$	1.00 m ³
残土処分工	機械積 土砂 4t車	24.63	24.63 m ³
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	$1.00 \times 19.96 =$	19.96 m ²
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	$1.00 \times 19.96 =$	19.96 m ²
As舗装工	再生密粒度Asコン t= 3cm	$1.00 \times 19.96 =$	19.96 m ²
発生土運搬工（仮置場）	0.2 ³ ハックホ 4t車	$\div 0.90 =$	m ³

略

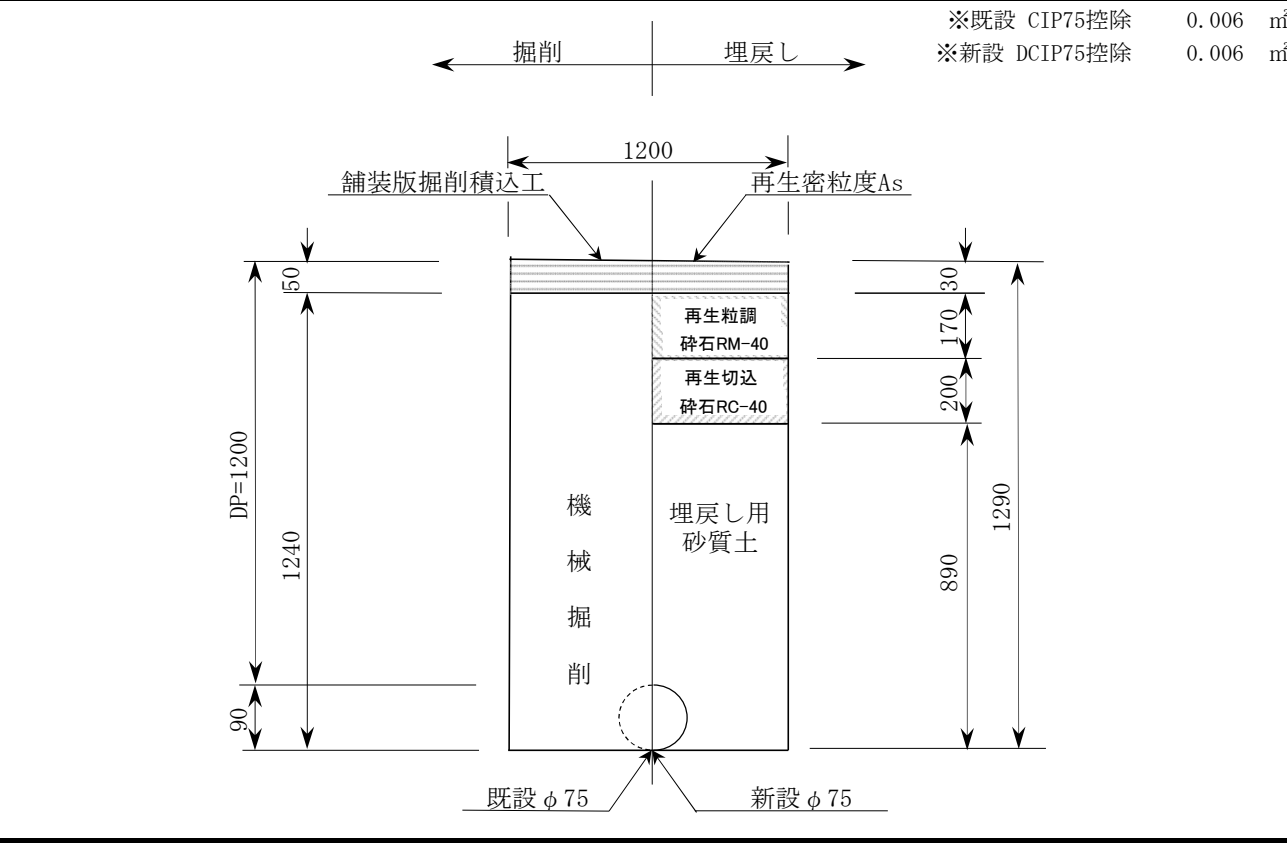
図



種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	15.23×2	$= 30.46 \text{ m}$
舗装版直接掘削積込工	0.20 ³ バックホウ Ast=10cm以下	1.20×15.23	$= 18.28 \text{ m}^2$
機械掘削積込工	0.2 ³ バックホウ	$(1.20 \times 1.24 - 0.006) \times 15.23$	$= 22.57 \text{ m}^3$
機械埋戻工	0.2 ³ バックホウ 砂質土	$(1.20 \times 0.89 - 0.006) \times 15.23$	$= 16.17 \text{ m}^3$
	0.2 ³ バックホウ 発生土		$= \text{m}^3$
残土処分工	機械積 AS 4t車	$1.20 \times 0.05 \times 15.23$	$= 0.91 \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 土砂 4t車	22.57	$= 22.57 \text{ m}^3$
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	1.20×15.23	$= 18.28 \text{ m}^2$
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	1.20×15.23	$= 18.28 \text{ m}^2$
As舗装工	再生密粒度Asコン t= 3cm	1.20×15.23	$= 18.28 \text{ m}^2$
発生土運搬工（仮置場）	0.2 ³ バックホウ 4t車	$\div 0.90$	$= \text{m}^3$

略

図



配水管土工計算

既設 DCIP75

一般車道舗装 (5-7-7)-15-20

DP=1.20

不断水仕切弁部

延長

=

1.30 m

NO. 4

不断水

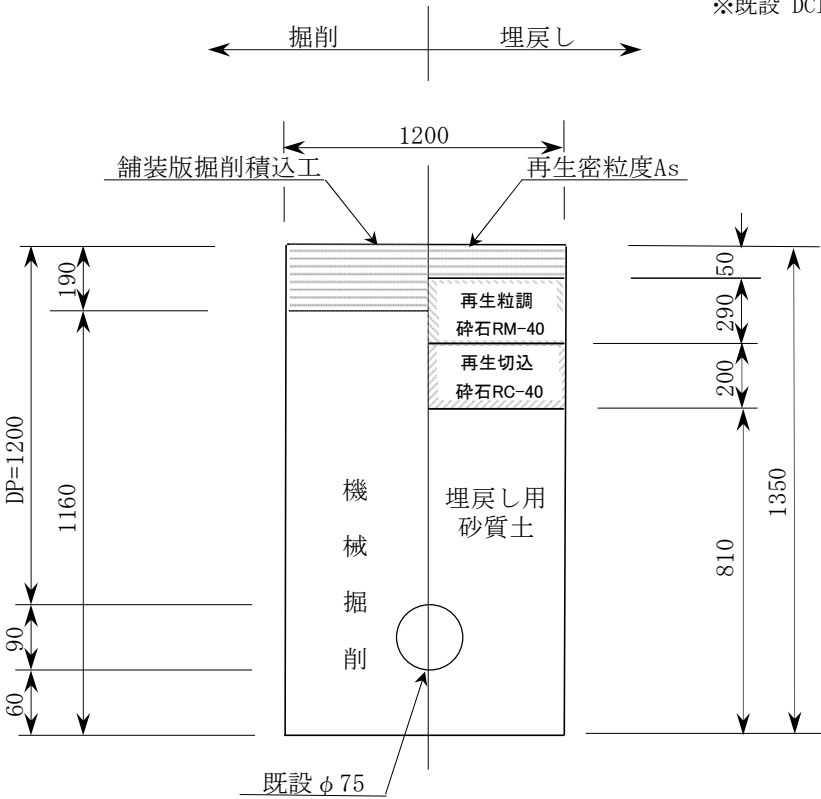
種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15～30cm以下	$(1.30 + 1.20) \times 2$	= 5.00 m
舗装版破碎・掘削積込工	0.45m ³ ハックホ Ast=15～40cm以下	1.20×1.30	= 1.56 m ²
機械掘削積込工	0.2m ³ ハックホ	$(1.20 \times 1.16 - 0.006) \times 1.30$	= 1.80 m ³
機械埋戻工	0.2m ³ ハックホ 砂質土	$(1.20 \times 0.81 - 0.006) \times 1.30$	= 1.26 m ³
	0.2m ³ ハックホ 発生土		= m ³
残土処分工	機械積 AS 4t車	$1.20 \times 0.19 \times 1.30$	= 0.30 m ³
残土処分工	機械積 土砂 4t車	1.80	= 1.80 m ³
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	1.20×1.30	= 1.56 m ²
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 29cm	1.20×1.30	= 1.56 m ²
As舗装工	再生密粒度Asコン t= 5cm	1.20×1.30	= 1.56 m ²
発生土運搬工 (仮置場)	0.2m ³ ハックホ 4t車	$\div 0.90$	= m ³

略

図

※既設 DCIP75控除

0.006 m²

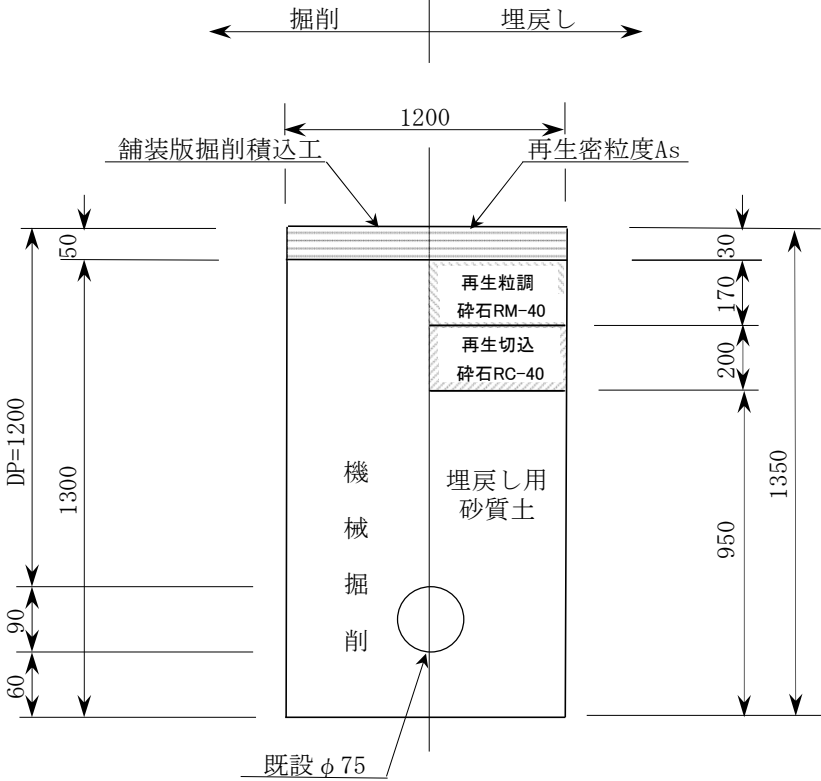


種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	$(2.60 + 1.20) \times 2$	= 7.60 m
舗装版直接掘削積込工	0.20m ³ バックホウ Ast=10cm以下	1.20×2.60	= 3.12 m ²
機械掘削積込工	0.2m ³ バックホウ	$(1.20 \times 1.30 - 0.006) \times 2.60$	= 4.04 m ³
機械埋戻工	0.2m ³ バックホウ 砂質土	$(1.20 \times 0.95 - 0.006) \times 2.60$	= 2.95 m ³
	0.2m ³ バックホウ 発生土		= m ³
残土処分工	機械積 AS 4t車	$1.20 \times 0.05 \times 2.60$	= 0.16 m ³
残土処分工	機械積 土砂 4t車	4.04	= 4.04 m ³
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	1.20×2.60	= 3.12 m ²
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	1.20×2.60	= 3.12 m ²
As舗装工	再生密粒度Asコン t= 3cm	1.20×2.60	= 3.12 m ²
発生土運搬工（仮置場）	0.2m ³ バックホウ 4t車	$\div 0.90$	= m ³

略

図

※既設 DCIP75控除 0.006 m²



配水管土工計算

一般車道舗装 (5-7-7)-15-20

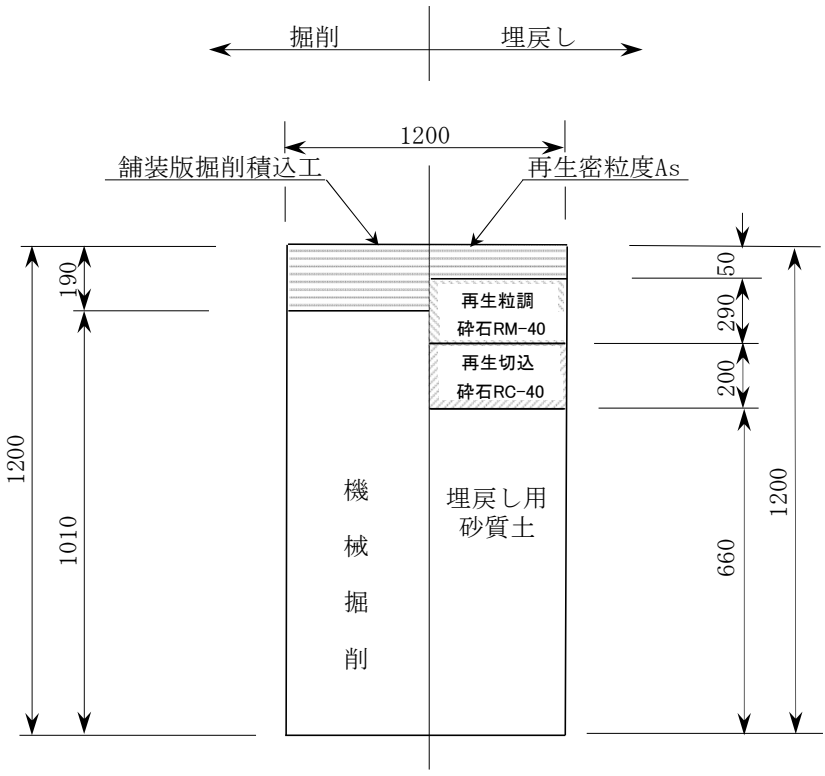
作業用仕切弁部 延長 = 0.20 m

NO. 6
不断水

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15～30cm以下	0.20×2	$= 0.40 \text{ m}$
舗装版破碎・掘削積込工	0.45m^3 ハックホ Ast=15～40cm以下	1.20×0.20	$= 0.24 \text{ m}^2$
機械掘削積込工	0.2m^3 ハックホ	$1.20 \times 1.01 \times 0.20$	$= 0.24 \text{ m}^3$
機械埋戻工	0.2m^3 ハックホ 砂質土	$1.20 \times 0.66 \times 0.20$	$= 0.16 \text{ m}^3$
	0.2m^3 ハックホ 発生土		$= \text{m}^3$
残土処分工	機械積 AS 4t車	$1.20 \times 0.19 \times 0.20$	$= 0.05 \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 土砂 4t車	0.24	$= 0.24 \text{ m}^3$
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	1.20×0.20	$= 0.24 \text{ m}^3$
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 29cm	1.20×0.20	$= 0.24 \text{ m}^3$
As舗装工	再生密粒度Asコン t= 5cm	1.20×0.20	$= 0.24 \text{ m}^3$
発生土運搬工 (仮置場)	0.2m^3 ハックホ 4t車	$\div 0.90$	$= \text{m}^3$

略

図



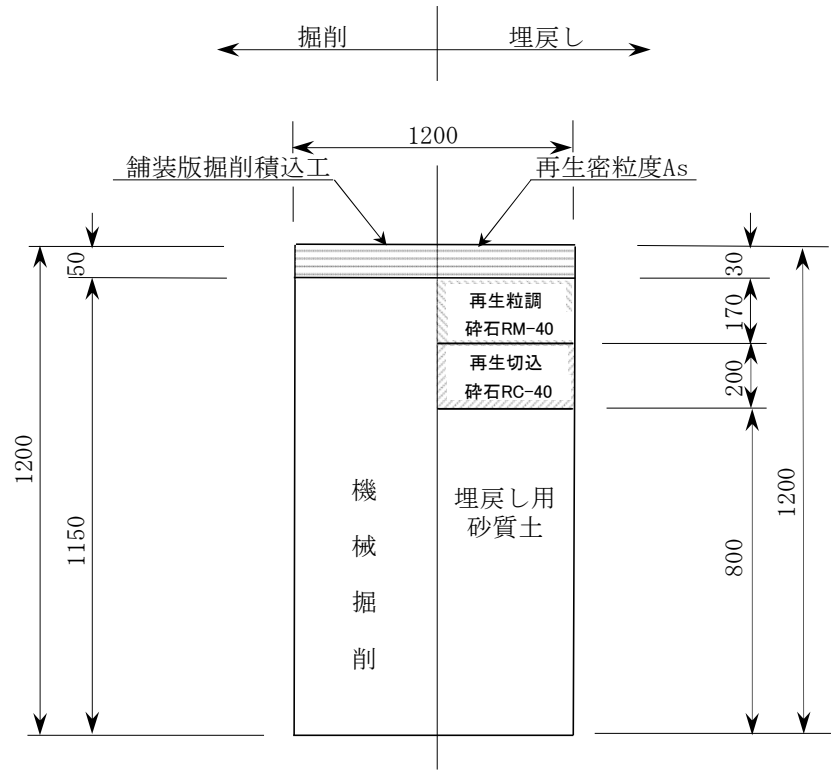
配水管土工計算 一般車道舗装 作業用仕切弁部 延長 = 0.40 m

NO. 7
不断水

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	$0.40 \times 2 =$	0.80 m
舗装版直接掘削積込工	0.20 ³ ハックホ Ast=10cm以下	$1.20 \times 0.40 =$	0.48 m ²
機械掘削積込工	0.2m ³ ハックホ	$1.20 \times 1.15 \times 0.40 =$	0.55 m ³
機械埋戻工	0.2m ³ ハックホ 砂質土	$1.20 \times 0.80 \times 0.40 =$	0.38 m ³
	0.2m ³ ハックホ 発生土	$=$	m ³
残土処分工	機械積 AS 4t車	$1.20 \times 0.05 \times 0.40 =$	0.02 m ³
残土処分工	機械積 土砂 4t車	$0.55 =$	0.55 m ³
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	$1.20 \times 0.40 =$	0.48 m ²
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	$1.20 \times 0.40 =$	0.48 m ²
As舗装工	再生密粒度Asコン t= 3cm	$1.20 \times 0.40 =$	0.48 m ²
発生土運搬工 (仮置場)	0.2m ³ ハックホ 4t車	$\div 0.90 =$	m ³

略

図



処分費

現場発生品運搬

名 称	計 算 書	数 量
処分費		
撤去管処分量	※下表、〔撤去管処分量〕より $\boxed{0.358\text{m}^3}$	0.36 m ³
収集運搬重量	※下表、〔撤去運搬重量〕より $\boxed{0.638\text{t}}$	0.638 t
収集運搬車両、回数	運搬車両は2t車とする 運搬車両 : 2t車 ($0.638 \div 2.0 = 0.319$)	1 回

撤去管処分量算定表

〔撤去管処分量〕

口径	既設管 外径 (m)	単位 撤去量 (m ³ /m)	撤去管撤去延長 (m)						撤去量 (空m ³)
			①	②				計	
φ75	0.089	0.006	49.96	3.85				53.81	0.323
								0.00	0.000
								0.00	0.000
								0.00	0.000
計									0.323

〔撤去管、撤去運搬重量〕

口径	管長 (m/本)	重量 (kg/本)	単位 重量 (kg/m)	撤去管運搬重量	
				撤去延長 (m) × 単位重量 (kg/m)	
φ75	-----	-----	11.73	$53.81 \times 11.73 = 631.19\text{kg}$	$= 0.631\text{t}$
φ100	-----	-----	15.09	$0.00 \times$	$=$
φ150	-----	-----	23.73	$0.00 \times$	$=$
	-----	-----		$\times$	$=$
計				撤去管総重量 $= 0.631\text{t}$	

〔撤去管処分量〕

口径	既設管 外径 (m)	単位 撤去量 (m ³ /m)	撤去管撤去延長 (m)						撤去量 (空m ³)
			仮給水	既設給水管				計	
φ13	0.015	0.001		6.90				6.90	0.007
φ20	0.027	0.001	28.00					28.00	0.028
								0.00	0.000
								0.00	0.000
計									0.035

〔撤去管、撤去運搬重量〕

口径	管長 (m/本)	重量 (kg/本)	単位 重量 (kg/m)	撤去管運搬重量	
				撤去延長 (m) × 単位重量 (kg/m)	
φ13	-----	-----	0.34	$6.90 \times 0.34 = 2.35\text{kg}$	$= 0.002\text{t}$
φ20	-----	-----	0.18	$28.00 \times 0.18 = 5.04\text{kg}$	$= 0.005\text{t}$
				$\times$	$=$
				$\times$	$=$
計				撤去管総重量 $= 0.007\text{t}$	

残土処分工 アスファルト塊

名 称	計 算 書	数 量
配水管土工	※〔配水管土工集計表75〕より $\boxed{3.000\text{m}^3}$	3.000 m ³
本設給水土工	※〔本設給水土工集計表〕より $\boxed{0.040\text{m}^3}$	0.040 m ³
仮設給水土工	※〔仮設給水土工集計表〕より $\boxed{1.100\text{m}^3}$	1.100 m ³
本復旧工	※〔舗装本復旧集計表〕より $\boxed{11.800\text{m}^3}$	11.800 m ³
運搬量		16 m ³
処分量	$16.00 \times 2.35 \text{ m}^3/\text{t}$	38 t

残土処分工 残土

名 称	計 算 書	数 量
配水管土工	※〔配水管土工集計表75〕より $\boxed{67.700\text{m}^3}$	67.700 m ³
本設給水土工	※〔本設給水土工集計表〕より $\boxed{0.870\text{m}^3}$	0.870 m ³
仮設給水土工	※〔仮設給水土工集計表〕より $\boxed{4.500\text{m}^3}$	4.500 m ³
運搬量		73 m ³
処分量		73 m ³

水 給 設 本

本設給水箇所数

給水管

[illegible]

給水管土工集計表

[illegible]

本設給水土工延長

[illegible]

給水管土工計算

宅地内(土)

土工a

1.00 m 当り

境界～乙止水栓

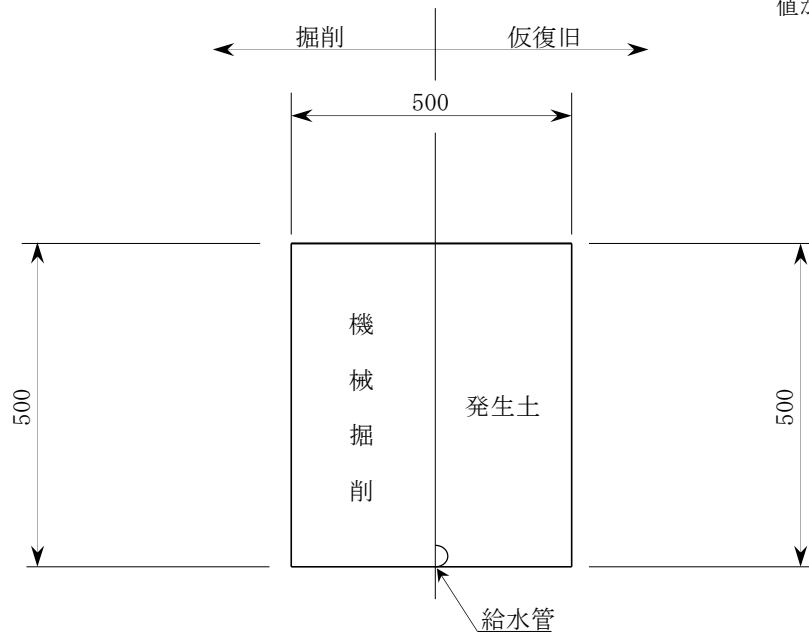
掘削幅 0.50

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
機械掘削積込工	0.1m3 バックホウ	$0.50 \times 0.50 \times 1.00 =$	0.25 m ³
機械埋戻工	0.1m3 バックホウ 発生土	$0.50 \times 0.50 \times 1.00 =$	0.25 m ³
残土処分工	機械積 土砂 2t車	$0.25 - 0.25 =$	m ³

略

図

※給水管の管体控除は
値が小さいため計上しない。



給水管土工計算

宅地内(土)

土工 b

1.00 m 当り

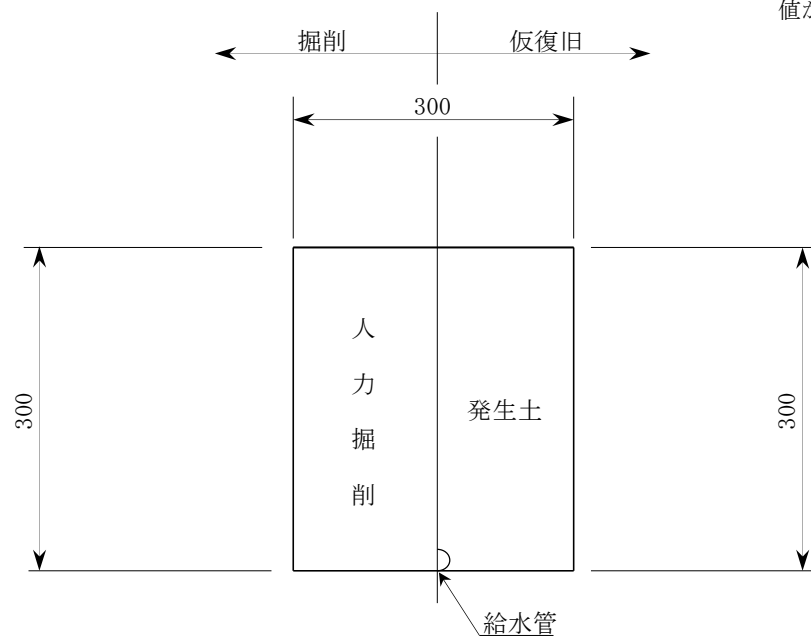
乙止水栓～メーター～既設管

掘削幅 0.30

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
人力掘削積込工	人力	$0.30 \times 0.30 \times 1.00 =$	0.09 m ³
人力埋戻工	発生土	$0.30 \times 0.30 \times 1.00 =$	0.09 m ³
残土処分工	機械積 土砂 2t車	$0.09 - 0.09 =$	m ³

略

図



※給水管の管体控除は
値が小さいため計上しない。

給水管土工計算

土工 c

メーター接続

延長 = 1.00 m

※給水管件数1件まとめ

As舗装 (DP=1.20)

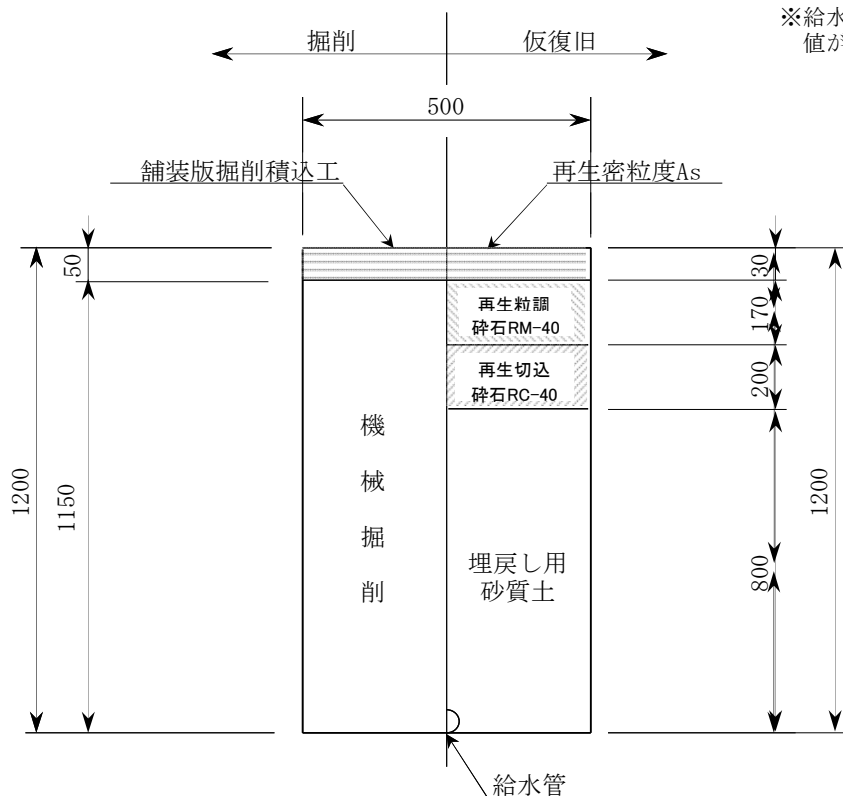
掘削幅 0.50

1箇所当たり

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	1.00×2	$= 2.00 \text{ m}$
舗装版直接掘削積込工	Ast=10cm以下	0.50×1.00	$= 0.50 \text{ m}^3$
機械掘削積込工	0.1m ³ バックホウ	$0.50 \times 1.15 \times 1.00$	$= 0.58 \text{ m}^3$
機械埋戻工	0.1m ³ バックホウ 砂質土	$0.50 \times 0.80 \times 1.00$	$= 0.40 \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 AS 2t車	$0.50 \times 0.05 \times 1.00$	$= 0.03 \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 土砂 2t車	0.58	$= 0.58 \text{ m}^3$
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	0.50×1.00	$= 0.50 \text{ m}^3$
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	0.50×1.00	$= 0.50 \text{ m}^3$
アスファルト舗装工	再生密粒度アスコン t= 3cm	0.50×1.00	$= 0.50 \text{ m}^3$

略

図



※給水管の管体控除は
値が小さいため計上しない。

給水管土工計算

土工 d

仮復旧部掘削

延長 = 1.00 m

※給水管件数1件まとめ

As舗装 (DP=1.20)

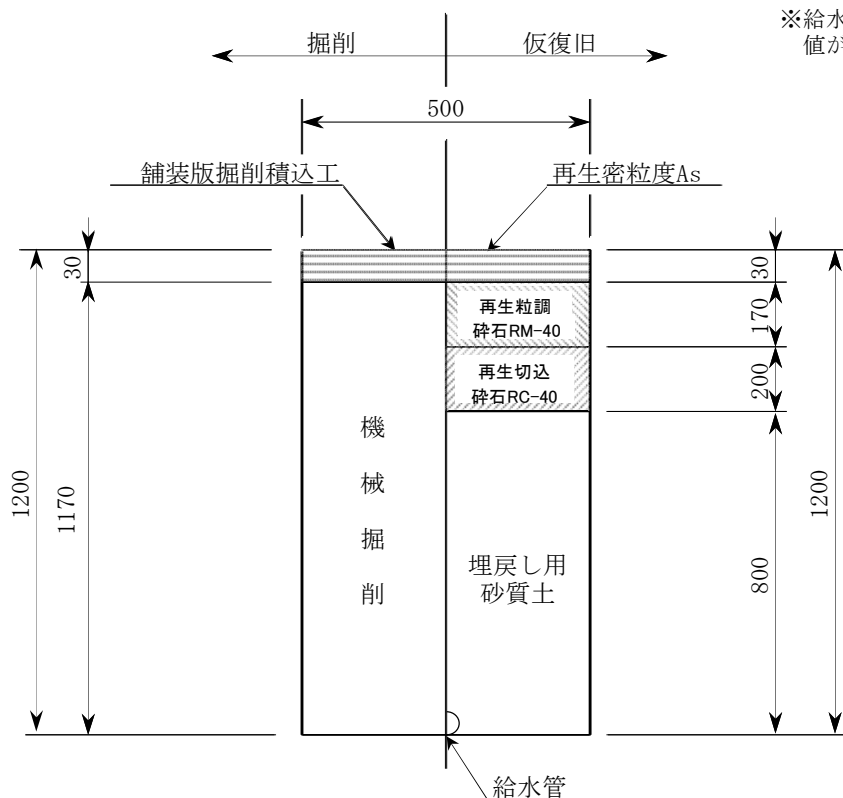
掘削幅 0.50

1箇所当たり

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	1.00×2	$= 2.00 \text{ m}$
舗装版直接掘削積込工	As _t =10cm以下	0.50×1.00	$= 0.50 \text{ m}^3$
機械掘削積込工	0.1m ³ バックホウ	$0.50 \times 1.17 \times 1.00$	$= 0.59 \text{ m}^3$
機械埋戻工	0.1m ³ バックホウ 砂質土	$0.50 \times 0.80 \times 1.00$	$= 0.40 \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 AS 2t車	$0.50 \times 0.03 \times 1.00$	$= 0.02 \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 土砂 2t車	0.59	$= 0.59 \text{ m}^3$
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	0.50×1.00	$= 0.50 \text{ m}^3$
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	0.50×1.00	$= 0.50 \text{ m}^3$
アスファルト舗装工	再生密粒度アスコン t= 3cm	0.50×1.00	$= 0.50 \text{ m}^3$

略

図



※給水管の管体控除は
値が小さいため計上しない。

仮 設 給 水

仮設給水材料集計表

[illegible]

仮設給水労務数量

[illegible]

(仮設給水)

(仮設給水)

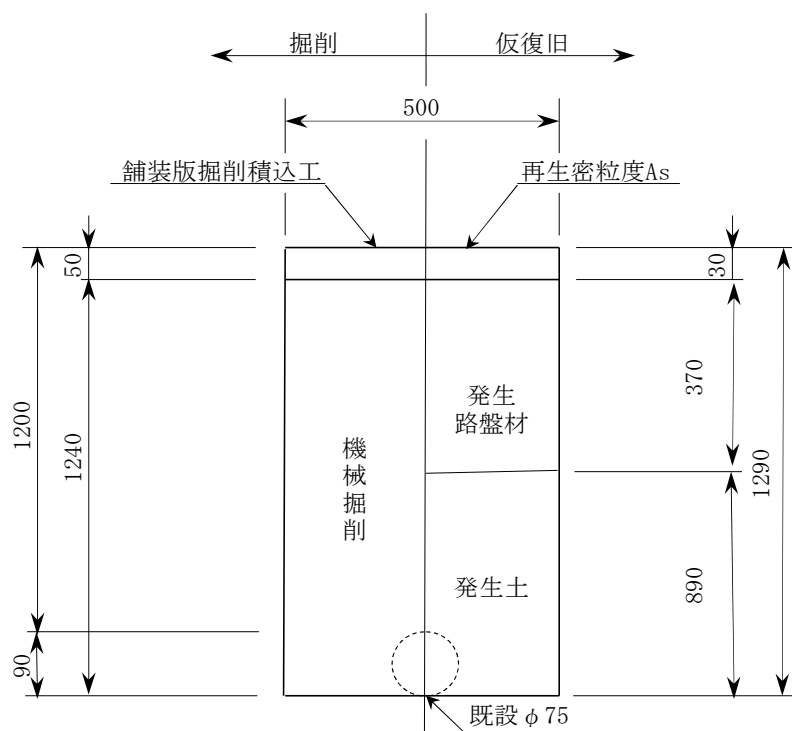
サドル取り出し部

DP=1.20

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	$1.00 \times 2 =$	2.00 m
舗装版直接掘削積込工	$0.10\text{m}^3/\text{ハックホウ}$ Ast=10cm以下	$0.50 \times 1.00 =$	0.50 m ³
機械掘削積込工	$0.1\text{m}^3/\text{ハックホウ}$	$(0.50 \times 1.24 - 0.006) \times 1.00 =$	0.61 m ³
機械埋戻工	$0.1\text{m}^3/\text{ハックホウ}$ 発生土	$(0.50 \times 0.89 - 0.006) \times 1.00 =$	0.44 m ³
残土処分工	機械積 AS 2t車	$0.50 \times 0.05 \times 1.00 =$	0.03 m ³
	機械積 土砂 2t車	$0.61 - 0.49 =$	0.12 m ³
路盤工	発生路盤材 t=37	$0.50 \times 0.37 =$	0.19 m ³
アスファルト舗装工	再生密粒度アスコン t= 3cm	$0.50 \times 1.00 =$	0.50 m ²
発生土運搬工（仮置場）	$0.1\text{m}^3/\text{ハックホウ}$ 2t車	$0.44 \div 0.90 =$	0.49 m ³

义

※ $\phi 75$ 控除	0.006	m ²
----------------	-------	----------------



仮設給水管土工計算		延長 = 28.00 m		一般部（仮設置時）
H=0.30				
種 別	形状・寸法	算 式		数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	28.00×2		56.00 m
舗装版直接掘削積込工	0.10m ³ バックホウ Ast=10cm以下	0.50×28.00		14.00 m ²
機械掘削積込工	0.1m ³ バックホウ	$0.50 \times 0.25 \times 28.00$		3.50 m ³
残土処分工	機械積 AS 2t車	$0.50 \times 0.05 \times 28.00$		0.70 m ³
路盤工	発生路盤材 t=27	14.00×0.27		3.78 m ³
アスファルト舗装工	再生密粒度アスコン t= 3cm	0.50×28.00		14.00 m ²
略		図		

仮設給水管土工計算		延長	=	1.00 m	サドルキャップ止め
既設 DCIP φ 75		DP=1.20			
種 別	形状・寸法	算 式			数 量
舗装版切断工	厚15cm以下				
舗装版直接掘削積込工	0.10m ³ バックホウ Ast=10cm以下	0.50 × 1.00			0.50 m ²
機械掘削積込工	0.1m ³ バックホウ	(0.50 × 1.26 - 0.006) × 1.00			0.62 m ²
機械埋戻工	0.1m ³ バックホウ 砂質土	(0.50 × 0.89 - 0.006) × 1.00			0.44 m ²
残土処分工	機械積 AS 2t車	0.50 × 0.03 × 1.00			0.02 m ²
	機械積 土砂 2t車	0.62			0.62 m ²
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	0.50 × 1.00			0.50 m ²
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	0.50 × 1.00			0.50 m ²
アスファルト舗装工	再生密粒度Asコン t= 3cm	0.50 × 1.00			0.50 m ²
発生土運搬工（仮置場）	0.1m ³ バックホウ 2t車	÷ 0.90			m ²
略		図			
		※ φ 75控除			0.006 m ²

掘削

仮復旧

500

舗装版掘削積込工

再生密粒度As

再生碎石
RM-40

再生碎石
RC-40

埋戻し用
砂質土

機械掘削

既設 φ 75

1200

30

1260

90

30

170

200

890

1290

仮設給水管土工計算		延長 = 28.00 m		一般部（仮設撤去時）	
H=0.30					
種 別	形状・寸法	算 式		数 量	
舗装版切断工	厚15cm以下				
舗装版直接掘削積込工	0.10m ³ バックホウ Ast=10cm以下	0.50 × 28.00		= 14.00 m ²	
機械掘削積込工	0.1m ³ バックホウ	0.50 × 0.27 × 28.00		= 3.78 m ³	
残土処分工	機械積 AS 2t車	0.50 × 0.03 × 28.00		= 0.42 m ³	
	機械積 土砂 2t車	3.78		= 3.78 m ³	
下層路盤工	再生切込碎石 t= 10cm	0.50 × 28.00		= 14.00 m ²	
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	0.50 × 28.00		= 14.00 m ²	
アスファルト舗装工	再生密粒度アスコン t= 3cm	0.50 × 28.00		= 14.00 m ²	
略		図			
掘削 仮復旧 500 舗装版掘削積込工 再生密粒度As 300 270 30 機械掘削 再生碎石 RM-40 再生碎石 RC-40 300 170 100 30 仮給水管					

舖 裝 本 復 旧

鋪裝本復旧計算

[illegible]

濁 水 処 分

濁水処理量の算出

①基本条件

舗装切断厚	濁水処理量	
	($\text{m}^3/100\text{m}$)	(m^3/m)
t=5cm	0.130	0.0013
t=10cm	0.240	0.0024
t=15cm	0.350	0.0035
t=20cm	0.460	0.0046
t=25cm	0.570	0.0057
t=30cm	0.680	0.0068
t=35cm	0.790	0.0079
t=40cm	0.900	0.0090

※左表に該当しない場合

舗装厚 = , 左表り t=5cm の値を基準に算出する。

濁水処理量② : $\text{m}^3/100\text{m}$
濁水処理量① : $\text{m}^3/100\text{m}$ …※舗装厚5.0cm未満は空白となります

$$\begin{aligned} \text{濁水処理量} &= \frac{\text{②} \quad \text{①}}{\left(\begin{array}{c} 0.130 \\ - \end{array} \right) \times 3 \bigg/ 5 + \text{濁水処理量②}} = 0.078 \\ &= \boxed{0.078} \text{ m}^3/100\text{m} \rightarrow \boxed{0.0008} \text{ m}^3/\text{m} \end{aligned}$$

舗装厚 = , 左表り t=15cm t=20cm の値を基準に算出する。

濁水処理量② : $\text{m}^3/100\text{m}$
濁水処理量① : $\text{m}^3/100\text{m}$ …※舗装厚5.0cm未満は空白となります

$$\begin{aligned} \text{濁水処理量} &= \frac{\text{②} \quad \text{①}}{\left(\begin{array}{c} 0.460 \\ - \end{array} \right) \times 4 \bigg/ 5 + 0.350} = 0.438 \\ &= \boxed{0.438} \text{ m}^3/100\text{m} \rightarrow \boxed{0.0044} \text{ m}^3/\text{m} \end{aligned}$$

舗装厚 = , 左表り の値を基準に算出する。

濁水処理量② : $\text{m}^3/100\text{m}$
濁水処理量① : $\text{m}^3/100\text{m}$ …※舗装厚5.0cm未満は空白となります

$$\begin{aligned} \text{濁水処理量} &= \frac{\text{②} \quad \text{①}}{\left(\quad - \quad \right) \times \quad \bigg/ 5 + \text{濁水処理量②}} = \\ &= \boxed{\quad} \text{ m}^3/100\text{m} \rightarrow \boxed{\quad} \text{ m}^3/\text{m} \end{aligned}$$

②濁水処理量、台数の算出

〔舗装切断数量〕

種 別	舗装切断長(m)			
	t=3cm	t=5cm	t=19cm	
本設 φ 75		116.40	5.40	
給水管	0.60	2.40		
仮設給水管		58.00		
設置・撤去				
舗装本復旧		81.40	16.20	
計	0.60	258.20	21.60	

〔濁水処理量〕

種 別	舗装切断長 A (m)	濁水処理量 B (m³/m)	総濁水処理量 A×B (m³)
t=3cm	0.60	0.0008	
t=5cm	258.20	0.0013	0.336
t=19cm	21.60	0.0044	0.095
計			0.431

よって、上表より「濁水処理量」は 0.431m³ となる

〔濁水運搬台数〕 1台=1.666m³

$$0.431\text{m}^3 \div 1.666\text{m}^3/\text{台} = 0.259\text{台}$$

$$= \underline{\underline{1 \text{ 台}}}$$

处分先

処分先

AS,CO殻

住所 : 飯能市芦荻場475
 名称 : (株)丸宮
 DID : あり
 距離 : 5.1 km



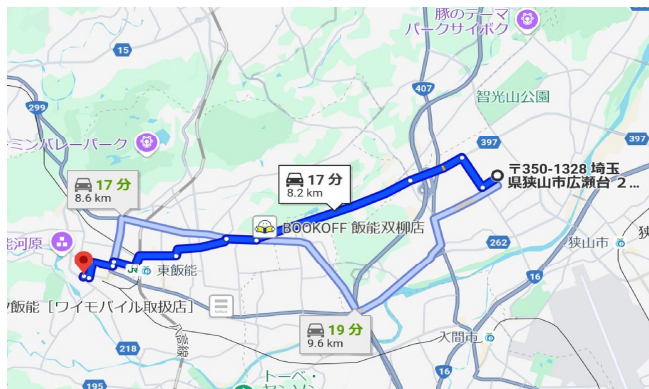
建設発生土

住所 : 青梅市成木5-1390
 名称 : UCR(オ)
 DID : あり
 距離 : 9.1 km



As濁水

住所 : 狭山市広瀬台2-12-13
 名称 : 大丸商事(株)
 DID : あり
 距離 : 8.2 km



現場発生品

住所 : 飯能市小岩井709-1
 名称 : 小岩井浄水場
 DID : あり
 距離 : 5.2 km



日 数 計 算

開削工事日数算定表

分類	工種	種別	規格	施工量		作業量		実日数	備考	
仮設	仮設本管 仮設給水管 布設工	舗装版切断工	As t=15cm以下	58.00	m		m/日		埼玉土木積算基準 P.265	
		仮設給水布設工	φ 20	28.00	m		m/日		水道事業実務必携 P.86	
		舗装版掘削積込工	As t=10cm以下 (BH0.10m3)	14.50	m ²		m ² /日		水道事業実務必携 P.169	
		機械掘削積込工	BH0.10m3	4.11	m ²		m ³ /日		水道事業実務必携 P.162	
		機械埋戻工	BH0.10m3	0.44	m ³		m ³ /日		水道事業実務必携 P.165	
	仮設布設時 仮復旧工	表層工	As t=5cm以下	14.50	m ²		m ² /日		水道事業実務必携 P.179	
		路盤工	2層 1.8m未満	14.50	m ²		m ² /日		水道事業実務必携 P.171	
		仮設本管 仮設給水管 撤去工	仮設給水撤去工	φ 20	28.00	m		m/日		水道事業実務必携 P.86
	舗装版掘削積込工		As t=10cm以下 (BH0.10m3)	14.50	m ²		m ² /日		水道事業実務必携 P.169	
	機械掘削積込工		BH0.10m3	4.40	m ²		m ³ /日		水道事業実務必携 P.162	
	機械埋戻工		BH0.10m3	0.44	m ³		m ³ /日		水道事業実務必携 P.165	
	仮設撤去時 仮復旧工	表層工	As t=5cm以下	14.50	m ²		m ² /日		水道事業実務必携 P.179	
下層路盤工		1層 1.8m未満	14.50	m ²		m ² /日		水道事業実務必携 P.171		
上層路盤工		2層 1.8m未満	14.50	m ²		m ² /日		水道事業実務必携 P.171		
新設管	舗装版取壊工	舗装版切断工	As t=15cm以下	116.40	m		m/日		埼玉土木積算基準 P.265	
		舗装版切断工	As t=15cmを超え30cm以下	5.40	m		m/日		埼玉土木積算基準 P.265	
		舗装版掘削積込工	As t=10cm以下 (BH0.20m3)	53.10	m ²		m ² /日		水道事業実務必携 P.169	
		舗装版破碎	As t=15cmを超え40cm以下	1.80	m ²		m ² /日		埼玉土木積算基準 P.264	
		舗装版掘削積込	As t=15cmを超え40cm以下	1.80	m ²		m ² /日		埼玉土木積算基準 P.264	
	機械掘削工	機械掘削積込工	BH0.20m3	67.70	m ³		m ³ /日		水道事業実務必携 P.162	
		埋戻工	機械埋戻工	BH0.20m3	48.50	m ³		m ³ /日		水道事業実務必携 P.165
	管布設工	管布設工	DIP φ 75	53.10	m		m/日		水道事業実務必携 P.53	
		管継手工(直管)	DIP φ 75	13	口		口/日		水道事業実務必携 P.58	
		管継手工(異形管)	DIP φ 75	3	口		口/日		水道事業実務必携 P.58	
		管継手工(G-Link)	DIP φ 75	7	口		口/日		水道事業実務必携 P.58	
	仮復旧工	表層工	As t=5cm以下	54.90	m ²		m ² /日		水道事業実務必携 P.179	
		下層路盤工	1層 1.8m未満	54.90	m ²		m ² /日		水道事業実務必携 P.171	
		上層路盤工	2層 1.8m未満	54.90	m ²		m ² /日		水道事業実務必携 P.171	
	既設管	既設管撤去	既設管撤去工	DIP φ 75	53.10	m		m/日		水道事業実務必携 P.53
		既設管接続工	既設管接続工	既設接続箇所	3	箇所		箇所/日		
簡易 仕切弁	簡易仕切弁 設置・撤去工	不断水簡易仕切弁設置工	DIP φ 75用	3	箇所		箇所/日			
小穴掘削	小穴掘削工	仕切弁筐撤去工	既設	0	箇所		箇所/日			
		消火栓・室撤去工	既設	0	箇所		箇所/日			
給水管	給水管切替工	給水管取出し・布設	※仮給水含む	2	件		件/日			
	舗装版取壊工	舗装版切断工	As t=15cm以下	3.00	m		m/日		埼玉土木積算基準 P.265	
		舗装版掘削積込工(宅内含む)	As t=10cm以下 (BH0.10m3)	0.70	m ²		m ² /日		水道事業実務必携 P.169	
	機械掘削工	機械掘削積込工	BH0.10m3	0.80	m ³		m ³ /日		水道事業実務必携 P.162	
		人力掘削		0.40	m ³		m ³ /日		埼玉土木積算基準 P.167	
	埋戻工	機械埋戻工	BH0.10m3	0.60	m ³		m ³ /日		水道事業実務必携 P.165	
		人力埋戻工		0.40	m ³		m ³ /日		水道事業実務必携 P.165	
	仮復旧工	表層工	As t=15cm以下	0.70	m ²		m ² /日		水道事業実務必携 P.179	
		下層路盤工	1層 1.8m未満	0.70	m ²		m ² /日		水道事業実務必携 P.171	
		上層路盤工	2層 1.8m未満	0.70	m ²		m ² /日		水道事業実務必携 P.171	
舗装本復 旧	舗装版取壊工	舗装版切断工	As t=15cm以下	81.40	m		m/日		埼玉土木積算基準 P.265	
		舗装版切断工	As t=15cmを超え30cm以下	16.20	m		m/日		埼玉土木積算基準 P.265	
		舗装版掘削積込工	As t=10cm以下 (BH0.20m3)	170.30	m ²		m ² /日		水道事業実務必携 P.169	
		舗装版破碎	As t=15cmを超え40cm以下	25.40	m ²		m ² /日		埼玉土木積算基準 P.264	
		舗装版掘削積込	As t=15cmを超え40cm以下	25.40	m ²		m ² /日		埼玉土木積算基準 P.264	
	舗装復旧工	不陸整正工	1.8m以上	195.70	m ²		m ² /日		水道事業実務必携 P.173	
		As舗装工(車道) 機械	As t=7cm以下 幅員1.4m以上3.0m以下	195.70	m ²		m ² /日		埼玉土木積算基準 P.251	
	区画線工	区画線工	実線 W=45cm	6.30	m		m/日		土木工事標準単価 P.3	
		区画線工	実線 W=30cm	6.00	m		m/日		土木工事標準単価 P.3	
		区画線工	実線 W=15cm	12.70	m		m/日		土木工事標準単価 P.3	
区画線工		文字・矢印・記号	8.00	m		m/日		土木工事標準単価 P.3		
合計								15.4		
交通誘導員B		16日 × 3人 = 48人								